

学校番号	2	学校名	静岡視覚特別支援学校	記載者	鈴木 隆臣
------	---	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア 主体的な授業・生活	○幼児児童生徒が、自ら課題に向かい 主体的に学ぶ授業・生活づくり	○適切な実態把握と学習等の系統性を踏まえた目標設定による授業及び指導実践 90%以上	A	A	・特になし
		○授業、活動が分かった、もっとやりたいと満足感、達成感を味わえた幼児児童生徒 90%以上	B	A	・特になし
		○互いの意見を尊重し合い、課題意識を持って、主体的に授業に取り組めた幼児児童生徒 90%以上 ○創立120周年を意識した取組を行った教職員 100% ○居住地校交流の計画的な実施。他校との交流及び共同学習の実施。幼児児童生徒の交流回数3～5回	B	A	・学校間交流では、お互いの学校間でよい関係が築けている。自然な交流が継続されていくとよい。
	○幼児児童生徒が、 将来の夢や希望をも って、生き生きと活動できる場の創出	○計画的な進路学習会、職場体験実習の実施。 生徒の満足度 90%以上 ○係活動における幼児児童生徒の成就感、達成感 90%以上	A	A	・特になし
		○外部人材を活用した授業・生活づくりの実施。各学部、寄宿舎での実施 合計4回以上	A	A	・地域と連携し、地域の人材を積極的に活用したい。
		○体育等、運動ができる環境を設定し主体的に取り組んだ幼児児童生徒の割合 90%以上	A	A	・特になし
		○音楽、図工美術、作業学習の授業の満足度 90%以上	A	A	・特になし
	○進路の理解が高まったと答えた保護者 90%以上 ○進路学習会等の情報発信の実施 計画通り 100%	B	B	・多様な進路希望に即した情報の提供に努めていく必要がある。	

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
イ	○幼児児童生徒が、 自分や他の人の命、動植物や物を大切に する心の育成	○「学校、寄宿舎が楽しい」と答えた幼児児童生徒 90%以上	A	A	・特になし
		○各学期途中で自己の言動を振り返るチェックシートを実施し、振り返る場を設定する。 100%	A	A	・特になし
		○動植物とのかかわりの場の設定 100% ○自分から準備、片づけをする幼児児童生徒 100%	A	A	・特になし
命を大切に する環境	○幼児児童生徒が、安全で安心して学び、生活できる教育環境の整備と危機管理体制の確立	○安心して活動できる視点による教室、寄宿舎、体育施設等の定期的なチェック毎月1回以上 ○防災防犯訓練及び研修会 実施年10回 ○改訂危機管理マニュアル作成 100%	A	A	・学校周辺の通学路の安全確保を図りたい。音響信号やエスコートゾーンの設置等について行政等と連携を図って整備を進めたい。
	○教職員が やりがい、働きがいのある職場環境 の整備	○業務の精選や会議の効率化等が図られたと答える教職員 80%以上	B	B	・地域人材の活用や小中一貫の児童生徒会の構築を考える等の対策を講じたい。
ウ	○発達段階に応じた自立活動の指導の充実 ○視覚障害の特性に対応した教科指導力の向上	○専門的な知識を有する校内や校外の人材を活用した授業支援の充実。各学部、寄宿舎での実施 100% ○外部研修を生かし、障害の特性に応じ教育実践をした教職員 90%以上	A	A	・特になし
	○地域における視覚障害教育のセンター的機能の充実	○受信者のニーズを意識した資料提供及び支援活動満足度 90%以上 ○ホームページ等の情報提供 年12回以上 ○環境改善、理解促進につながる活動の実施 100%	B	B	・高等部の啓発については、地域のイベントに参加するなど外部に向けてPRすることが大切である。 ・支援センター等を小学部段階から活用することが大切である。